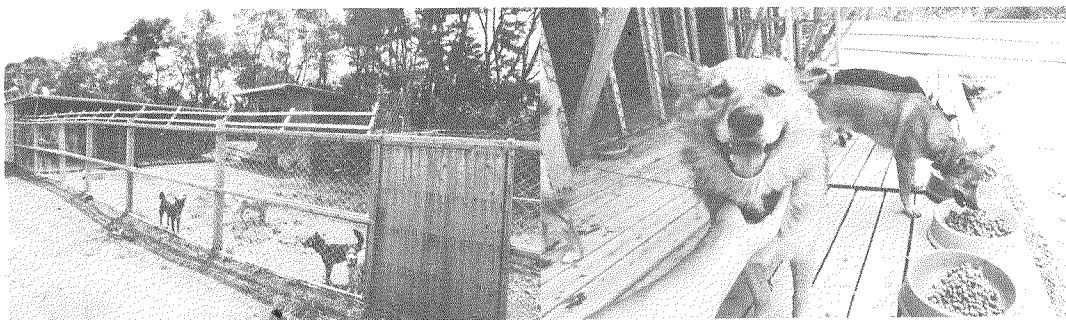


緊急カンパのお願い

移転地での計画・今後の課題

移転地では単にこれまでの継続だけではなく、より発展的な形を考えています。今回の救助活動で最も大きな躰きは、災害後ただちに保護・収容する施設がなかったことです。そのためしばらくは一時保護の場所探しに右往左往していたのです。こうした準備の立ち遅れが犠牲を最小限にとどめることの出来なかった大きな原因です。そればかりか、現在でも長期化の尾を引いているのです。移転地ではこれからの災害や様々な状況に備え、恒久的な施設作りを目指しています。里親を長期で探さなければならない状況や、移転を余儀なくされる不利な状況から導き出された緊急措置を、動物の苛酷な現況を改善してゆくための拠点として結び付けられれば幸運なことです。みなさまのご協力をお願い致します。

- 時期 ー現在の予定では11月にはすべての準備を整え、12月には動物を移転させるつもりです。
- スタッフー現地スタッフ2名と福岡の動物看護師の経験を持つ協力者の計3名の予定です。また、上記3名の他、移転地でのアルバイトスタッフ1名～2名をお願いしたいと思っています。
- 場所 ー移転地は島原近辺とさらに広げて九州全域を候補にあげています。常駐の3名が恒久的施設として活動しやすい場所を希望しているため、おそらく大分・佐賀・宮崎・鹿児島などの自然に囲まれ、近隣の苦情のない、安価で購入または賃貸できる場所になることと思います。現在2000坪程度の土地を探しているところです。



必要とされる資金

	最 低
①土地	500万
②犬舎	200万
③猫舎兼宿舎	600万
④猫舎設備	100万
⑤フェンス	200万
⑥水道・電気・諸設備	100万
⑦人件費(2名×月10万) 一年	240万
⑧運営費(月100万) 一年	1200万
⑨移動運賃(動物・諸設備)	50万
⑩現在地の整地・撤去費	100万
⑪防虫対策・他	?

3290万

左記の他、島原で継続する保護活動費と移転地での当面の維持費で1000万は必要になってきます。

現在残金が約800万。これから必要とされる資金が約2500万になります。お金のいることばかりで、申し訳ありませんが、どうぞよろしくお願い致します。

隔離犬舎の完成ー移転地での飼育形式のひな形に

今年、6月30日隔離犬舎が完成しました。場所は300メートルほど離れた海辺です。昨年冬のジステンパー、今年6月のパルボと伝染病には本当に悩まされてきました。集団飼育する場合には、本来ははじめから、ワクチンを接種した後2週間、免疫完了期間まで他の場所に隔離しなければならなかったのですが、資金不足・人手不足のためできませんでした。最近ようやく余裕がでてきたことと、今後本格的に強制捕獲に着手することをあわせ、思い切って着工に踏み切りました。15M×10Mのフェンスの中に小犬舎があり、散歩も自由にできます。小犬舎は2畳の部屋5つからできています。すでに、3頭の捕獲犬、4頭の住民保護持込み子犬、同じく成犬1頭が入っています。7月4日捕獲の成犬タヌは当初非常に凶暴な様子を示していましたが、こちらに悪意がないことがわかったのか、ある日突然甘えん坊へと変貌し、他の犬たちのリーダーを担っています。小規模のバランスの取れたグループをフェンスで囲う方法は、犬たちも自由に遊べるためストレスが少なく、心もひらきやすくなり、散歩の労力も少なく済み、経済的にも好ましいものです。移転地でもこの方式でのびのびと暖かい雰囲気ですべて育てたいと思っています。